

2020年 6月 21日 《父の日・聖餐式》

主 日 礼 拝

①8時半

②10時半

③19時

司 会

石井 秀人兄

奏 楽

祈 祷

松岡 清枝姉

賛 美

聖歌236番 & ~ Once Again ~

平和の祈り

聖 書

第二テモテ2章14～21節

特別賛美

プレミアムクワイア

メッセージ

「ゆるがない人生の土台」

石井 潤 牧師

聖 餐 式

賛美「主イエスの十字架の血で」

献 金

聖歌229番 「おどろくばかりの」

祝 祷

[献金当番：渡辺姉・千鶴子姉]

お知らせ

[司会者]

賛 美

～あなたはわが力～

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！
《今週のお知らせ》

★本日は父の日。共に父なる神様に礼拝をお捧げできますことを感謝します！

☆本日午後、短時間ですが、執事会を行います。宜しく願い致します！

★今週の祈り会は、○早天祈祷会：月曜朝6時。○木曜祈祷会：10時半（WOGA集会は秋までお休みです）・19時半。○準備祈祷会：土曜夜8時。

GA集会は秋までお休みです）・19時半。○準備祈祷会：土曜夜8時。

☆来週の日曜も礼拝のみ行います。月曜日は長野の家庭集会があります(29日)。

一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [6/21-28]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書	歴代誌下 14-17章	18- 20章	21- 23章	24- 26章	27- 29章	30- 32章	33- 34章	35- 36章
チェック	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇

「ゆるがない人生の土台」

～神に自分自身をお捧げする～

「しかし、神が据えられた堅固な基礎は揺るぎません。そこには、『主は御自分の者たちを知っておられる』と、また『主の名を呼ぶ者は皆、不義から身を引くべきである』と刻まれています。」
第二テモテ2章19節〔新共同訳〕

この第二テモテはパウロにとっての遺言、最後に伝えたいことばとしてテモテに書かれた内容です。そんな重要な手紙の中に何が書かれているかということはとても興味深いことです。

今まで、キリスト教会を建て上げ、導いてきたパウロが、多くの信者たちを残して、自分は今すぐこの地上を去ろうとしている。そのような状況で、最愛の弟子であり、後継者であるテモテに最も伝えたいことを書き送ったことは言うまでもありません。

3章1節には、「終りの時には、苦難の時代が来る」と預言しています。これは、テモテがこれから立ち向かう時代でもあり、さらに後の時代のクリスチャンたちが通過しなければならない試練の時代を意味しています。それは、現代に生きる私たちにも語られている内容でもあります。キリストの真実な教えからそれるように、惑わされるようになることを警告しています。今でも、キリスト教会の中でも、真実な教えから上手にそれるように働いている悪魔の働きを感じることがあります。それは、現代ではSNSなどのソーシャルネットワークを介して巧みに入り込んでいます。FacebookやYoutubeなども有用なツールですが、悪魔も巧みに、また、大胆に用いています。しかも、クリスチャンたちにも分かりにくいように間違った内容を含めつつ入り込んでいます。最も気をつけなければならないのは私たち牧師たちだろうと感じています。だから、パウロもテモテに対してしつこいように「気をつけなさい」と忠告していると思います。

2章にヒメナオとピレトという人物の名前が出て来ますが、彼らも間違った教えに惑わされ、自らもその間違った教えを広めていたと記されています。私たちは真新しく、刺激的で、派手で、分かりやすい教えなどに流れていきやすい傾向があります。しかし、そうではなく、パウロが言うようにすでにその土台は据えられていて決して揺るがないものである、その土台は時代と共に変化するものではないということをしっかりと理解しておく必要があることを語っています。イエス様以上でも、イエス様以下でもない。その福音は変わらないことを自覚していないといけないのです。それは、自分本位になっていくときに間違った方向に進んで行くのだと教えています。私たちは日々自分自身を主にささげ、人々に仕えていくものであることを自覚していきたいと思います。本日は久しぶりに主の聖餐に預かります、まず、私たちの主が私たちのために自らを神の前におささげくださいました。その十字架を想い、私たちも主の御姿をしっかりと見上げつつ、自分自身の十字架を背負い、この人生をお捧げしていきましょう！